

24時間お母さんの都合にあわせます

株式会社マミーズファミリー社長
増田かおりさん

深夜に仕事が入った、ひとりで子育てする母がいれば、朝まで自分の子どもと一緒に預かる。障害のある子どもの母の要求に応じて、自宅と同じ設備を完備する。ほかに行き場がないお母さんに寄り添ううちに、増田さんの保育所は自然に拡大してきた。
現実味のない育休制度3年、効果が出ない待機児童解消策。「母の現場」を知らない政治家ではどうにもならない問題も、増田さんなら解決できる。

シリーズ
人間

No.2137
題字 / 武田双雲

自分も理想の母親を目指すあまり行き詰まって育児ノイローゼになった。手足の運動障害まで発症した。ひとりで苦しんでいるときに、子どもを預かってくれた近所の友人の一言が、増田さんを救う。孤立する母親はいつの時代にもいる。お母さんが子育てに幸せを感じられる世の中にしたい。事業内容が変わっても、そのためにできることは何でもする。

「どうしよう……」
増田かおりさん(49)は、頭のなかが真っ白だった。株式会社マミーズファミリー代表取締役である彼女は、その日、高知医療センターの院内保育所を運営する業者を選定するためのプレゼンテーションに参加していた。プレゼンに手を挙げたのは、いずれも有名大手企業ばかり。増田さんは、自分がこの場にいて、激しく後悔はじめていた。
各社、パワーポイントを駆



(64)

スリゾク

な事業だった。資金を借りるためには保証人が必要だ。夫・一孝さんに頭を下げたが、そこからは離婚届を間においての話し合いになった。「保証人になってください」「アホか。そんな金、借りても返せるわけないやろ」増田さんは、夫を寝かさず、毎日、朝まで説得を続けた。「49年の人生で、あのときくらいですよ。食欲がなくて食べられなかったなんてのは」一孝さんは苦笑する。彼はその夏、一気に体重が7キロも

落ちたそう。ともに託児ルームを支えてきた友人も「主婦の域を超えている」と、離れていった。それでも増田さんは諦めなかった。家具店だったビルの3階フロア90坪を改装して造ったキッズパオ。できる範囲で、自分たちでも内装工事をした。一孝さんも保証人になってからは腹をくくった。日曜大工で木の滑り台を設置。お散歩カーまで作ってくれた。増田さんは、このころからドイツのシュタイナー流幼児教育を取り入れた。「テストのない教育、偏差値のない教育、自由への教育」として、紹介されはじめた教育理論だ。図書館の本を読みあさり、シュタイナー理論を自分なりにアレンジして実践。壁に貼ってあったウサギやゾウの壁面飾りを外し、キャラクターものや電池で動くおもちゃはやめ、季節の花を生

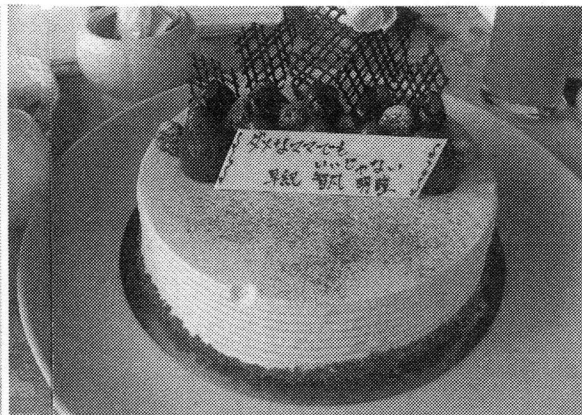
け、羊毛で作った動物を並べてみた。「すると、子どもたちの態度や遊び方が変わってきたんです。それまで子ども同士で叩いたり、蹴ったりしていたのが、目に見えて少なくなっていくたんですよ」増田さんは子どもたちを徹底的に観察した。どうしてだろう？ と、常に考えた。「プラスチック製の軽い取っ手のあるコップだと、どうしても子どもたちは集中してご飯を食べないんだろう？ ウロウロしたり、気が散るんだろう」観察していると、子どもたちは取っ手を持ってコップを振り回していた。「じゃあ、あの取っ手がなくなったら、振り回さないかも」こうして取っ手つきコップは、陶製の取っ手のないカップへと変わっていった。お母さんの気持ちに寄り添うこと。子どもたちをきちんと観察し、押しつけではない自発的な教育を施すこと。キッズパオの保育方針は、こうした実践を通して、しだいに確立していった。だからキッズパオにはできないことがない。増田さんは、どんな無理難題でも「どうやったらできるのか」を、まず、考えるからだ。看護師をしながら、脳性ま

ひの息子・こうちゃんを育てるシングルマザーからこんな依頼がきたことがある。「息子はふだん、健常の子と触れ合う機会がありません。仕事の土曜日まで、増田さんの保育所で預かってもらうわけにはいきませんか」増田さんは請け負った。保育所の畳の部屋に寝かせておくと、こうちゃんはニコニコしていた。イヤなときはウーッとうなり、ご機嫌なときはタオルをクルクル回す。こうちゃんの周りに、自然と子どもたちが集まってきた。こうちゃんにとっても、ほか

の子どもたちにとっても、貴重な時間が流れていた。心臓の疾患をもつマサヒロくんを預かったときは、増田さん自ら、主治医に対応の仕方をお教わりいただいた。自宅にあるような酸素タンクの設備を整え、流動食のパン粥を用意した。「私たちに頼るときは、家族にも友達にも頼めないときだから、私が断つてどうするの？」と思うんです。包み込むような優しさで、ほほ笑む増田さんの胸の奥には、保育にかける情熱が燃え、たぎっている。その熱さに、



二女の智凡さんは「母のことを、今思えばすごいと思う」。5年ほど前、母の日に父と姉妹たちと贈ったケーキには、「ダメなママでもないじゃない」という一文が



報道記者の仕事は、事件があれば朝も夜もなく現場に駆けつける勤務だ。育児と仕事を両立させていた石沢さんは体調を崩し、復帰4カ月で2度も入院してしまう。「もはや仕事はここまでか」と観念しかけた病室のベッドで、増田さんの託児ルームを知った。石沢さんは驚くにも及ぶ。思

いで、増田さんに会った。そもそも増田さんは、感動屋さんだ。石沢さんの孤軍奮闘を涙ぐんで聞き、親身になつて慰めた。「大変だったね。そんな大変な仕事でも、辞めなくていいようにお手伝いしたい」同じ働くお母さんでもある増田さんの言葉は、まっすぐに石沢さんに響いた。「あのころは、子どもを預けて仕事をする母親を積極的に応援しようという風潮はなかったのだけれど、励みになりました」（石沢さん）以後、石沢さんは週4〜5日、2人のシッターさんを交代で頼んだ。しかし、シッターさんの派遣時間は20時まで。以降は、増田さんが当時、3歳と5歳の娘を連れて、シッターに行くこともあった。事件が起きて、石沢さんが帰れない夜は、そのまま娘た

ちと石沢家へ泊まり込む。翌朝は、増田さんが石沢さんの娘を保育園まで送って行った。「娘を増田さんの三女のように育ててもらいました。子どもの性格をしつかり見てケアしてくれる。それを見て、私も精神的に余裕が生まれ、仕事もがんばれた」（石沢さん）当時の認可保育所の保育時間は、朝8時から夕方5時までと決まっていた。延長保育も6時まで。新聞社で働く人やピアノの先生など、夕方以降に子どもを預けたい人は、ほかにいた。ママたちの苦境を聞くにつけ、増田さんは思った。「24時間対応できる保育所を始めなければ」こうして'96年12月、託児ル

ーム「キッズパオ」が船出する。24時間360日、午後2カ月から就学前までの子どもを預かる施設だった。

「託児サークル」として発足。美容室のビルのワンフロアを借りて、一時預かりの託児ルームを開設した。1時間800円で、子どもを預かる。格安で場所を提供してくれた美容室のお客さまの預かり料は無料にした。当初は、地元のマスコミで紹介されたこともあり、客足は上々。美容室のお客さんにも好評だったが、インフルエ

ンザの大流行を機に、しだいに客足は遠のいた。ベビーシッター業務や産褥サービスも始めたが、ビルのオーナーからは、そろそろ出てほしいと言われてしまう。そんなころ、通信社の元記者・石沢朝子さん（43）と出会った。

増田さんの言葉は、まっすぐに石沢さんに響いた。「あのころは、子どもを預けて仕事をする母親を積極的に応援しようという風潮はなかったのだけれど、励みになりました」（石沢さん）以後、石沢さんは週4〜5日、2人のシッターさんを交代で頼んだ。しかし、シッターさんの派遣時間は20時まで。以降は、増田さんが当時、3歳と5歳の娘を連れて、シッターに行くこともあった。事件が起きて、石沢さんが帰れない夜は、そのまま娘た

ベビーシッターを始めたころ、自宅に泊まり込んで世話をしたはるかちゃんと母親の朝子さん（左）、増田さん一家4人



美容整形 情報・相談 センター

10年の実績 相談実績

クリニック選びは慎重に賢く!!

皆様の生の声を反映させ、それぞれの治療内容に合った医院や医師をご紹介致します。

プライバシー厳守

お腹・腰まわり痩せ バストの張り・ボリューム 顔のたるみ 部分的しわ シミ・くすみ 目元のタルミ ワキガ・多汗症 切らないリフトアップ

安心 サポート 丁寧

全国どこからでも、無料でご相談・ご紹介紹介。 ※認定医療機関対象

お問い合わせは **ビューティー相談室** 相談無料 キュートなコは キレイ

フリーダイヤル **0120-975-901**

相談受付時間 / 10:00~19:00 年中無休 東京都港区新橋1-11-3 岩井ビル5F <http://soudan-go.com>



東京・渋谷の「マミーズファミリー学園」で、若い保育士たちに向けて理念研修中の増田さん。男性保育士の姿も



松山の認可保育所・中須賀保育園で。子どもと接するときは、穏やかな表情に一変する。保育士になる夢が原点だ

フリーズ人間

反発が生まれることもあった。県立病院の院内保育所の運営を引き継いだとき、それまで公務員として働いていた保育士たちがいつせいに辞めた。「マミーズファミリーの方針についていけない。待遇がよくなければ、そこまで働

けないと言われました」一孝さんはこう言って、妻を慰めた。

「僕たちの保育は、保育業界の黒船」みたいなもの。みんなにわかってもらおうと思うなよ」

増田さんは、これまでお母さんが幸せを感じる子育てを探し求めた。

「本当は子どもを育てるって、すごく楽しいことのはずなんです。子どもがいる暮らしを幸せだと思えない、安心して子どもを産めないのは、人が尊重されない社会だからじゃないでしょうか。経済的な理由やマンションが狭いなどの物理的理由は、私には二次的なものに思えるんです」

いろんなことが楽しめるお母さんが増えれば社会が変わる

JR松山駅と伊予鉄道の松山市駅の中間地点に、本社も兼ねた「キッズバオあおぞら園」があった。

午後3時すぎ。お昼寝から起きたばかりの子どもたちが、寝ぼけまなこで小さな机に集まって、おやつを待っていた。

意外なほど静かなのは、保育士が遠くから大きな声で子どもを呼ぶことがないから。それは、マミーズファミリーの方針の1つだった。

その日のおやつはかぼちゃのケーキ。こだわりの食器はすべて陶製。スプーンにも工夫がこらされていた。

離乳食中期の「どろどろ・つぶつぶ食」を食べさせてもらう子を見ると、保育士はスプーンを口に入れずに、子どもがバクリと食べにくるのを待っている。

「おなががすいていれば、少しでも待ってあげると、子どものほうから食べにくる。食べる意欲を育てるためには、自分で食べたという実感をもたせることが大切なんです」

増田さんが解説してくれた。24歳のスタッフ・恵先生は現在、妊娠7カ月。おやつを食べ終わった3歳児が、食器とコップをカウンターに片づけてくると、恵先生がすかさ

ず「ありがとう」と、声をかける。何度も響く「ありがとう」の言葉それだけで、その場の空気が柔らかくなった。

99年に三女・明瞳さん(13)が生まれ、その翌年には、念願のドイツ留学を果たしている。気がつけば、増田さんも反面教師だった美容師の母と同じように、仕事中心で生きてきた。

そんなパワフルな増田さんを育児ノイローゼにした最強の二女・智凡さんは、すでに20歳になっていた。

「母親が働いているのは当たり前。姉妹がいたし、いつも父がいてくれたから、寂しいと思ったことはなかったけど、仕事ばかりしていて、話す時間もなかったですね」

もう少し家にいてほしいと中学時代には「くれた」こともあるそう。

「でも、母はすごいなと思います。やりたいことがいっぱいあって、やりたいことをこなしている」

お母さんの偉大な背中を見てきたからか、智凡さんは4月から、保育士の試験を受けるための勉強を始めていた。

「母は尊敬しているけど、母みたいになりたいとは思いません。私はもうちょっと家庭

にいて、一般的なお母さんみたいなことをしたいんです」すぐに笑って、付け加える。「でも、それって、母がおばあちゃんに言ってたことみたいですね」

身なりにいつさいかまわなかった増田さんが、最近、オシャレになったと評判だ。上品なスーツに身を包み、きれいに化粧をし、携帯電話はコテコテにデコっていた。

「いろんな自分を楽しもうと思ったの。いまは、別の会社を経営している主人に5年ほど前、『おまえボーイフレンドつくれ』って言われたの。『このままだと女枯れてしまうぞ』って。そうか! もっと健康や精神、家庭に目を向けたビッグママ像をつくらうと思って、意識的に時間をつくってます」

ほがらかに言った。昨年からは、大学院に進学し、勉強をし直している。働くだけじゃない。キレイでいることも、学ぶことも、キラキラ輝くことも、お母さんの幸せだ。

子育てを楽しむ、生き生きと働き、母であることを幸せに感じる社会を目指して。ビッグママはこれからも走り続ける――。

取材／浦井美弥

文／川上典子

撮影／田山達之

「好きな人できたから…」今年3月メールで「婚約破棄、通告」
蒼井優 破局真相 **「傷心、鈴木浩介」** **ローン** 50万円

明菜 うつ生還! 母の墓前に報告した復帰の再始動

「鳥人間コンテスト」の事故で動けない身体に! 26歳女性涙の提訴 地獄の6年間

小塚崇彦 結婚前提交際 **キューピッド** 本命愛 **平井理央**

7月2日号 特別定価380円 光文社

女性自身 **怒りん坊の処方箋** **大野くんとやっぱ異才!** **草間彌生** と愛のコラボ

指原莉乃 AKB総選挙 激痛 韓国エステ

福山雅治 最終話ロケ 天海祐希 トキメキの理由 **是枝監督** ライズ

雅子 まさ起死回生の励まし 30分

美智子 まさ激痛闘病 今こそ私が!

楽しんど 敏腕実業家来年には100店舗

島唄 20年 THE BOOM と沖縄の心語る 宮沢和史 僕の祈り

CM女王は北斗晶 夫の年収No.1は……発表!! **ママタレ** カーストランキング **宮崎うり** 冷

西山 悲願の妊娠叶えた **あまちゃん** 神社 **田原** 俊に通告 260万円払え!

直撃 **田原** 俊に通告 260万円払え!

